

だれでも行ける、遊び・
学び・生活できる、子ども
もが安心できる居場所が
地域にあれば…。こんな
思いから、子どもにかか
わるすべての方々に観て
聞いてほしい映画と講演
のつどいを企画しました。
お誘いあって、ぜひおい
てください。

17:30～19:10

第1部

ドキュメンタリー映画
「さとにきたらええやん」



第2部

19:30～20:50

“子どもの居場所”で活躍する
3人のスペシャルトーク



鈴木 健さん
●川崎市ふれあい館
職員



西野 博之さん
●フリースペース
たまりば理事長



庄保 共子さん
●こどもの里理事長

子ども
の居場所
を
考える
つどい

『さとにきたらええやん』上映と

★参加費無料★

と き●12月12日(月)17:00受付開始 17:30開会

ところ●川崎市教育文化会館 6階・大会議室(300人収容) 地図裏面

子どもたちの遊びと学び 生活の場です。

誰でも利用できます。

子どもたちの遊びの場です。

お母さんお父さんの休息の場です。

学習の場です。

生活相談何でも受け付けます。

教育相談何でもききます。

いつでも宿泊できます。

緊急に子どもが一人ぼっちになったら

親の暴力にあったら

家がいやになったら

親子で泊まるところがなかったら

土・日・祝もあいてます。

利用料はいりません。

「こどもの里」案内より

いま、子どもも親も、安心して
居場所を探し求めています。
多くのみなさんが心を痛めた、
川崎での中学生死亡事件から、
もうすぐ2年がたちます。「子ど
もの貧困」対策もようやく行政
の課題にのぼり、居場所を兼ね
た「子ども食堂」の取り組みも始
まっています。

子どもにかかわるすべての人、
市民みんなで「子どもの居場所」
について考えあいましょう。



映画「さとにきたらええやん」

- いつでもおいでや。
子どもも大人も集まる、みんなの“さと”

大阪市西成区、日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年続く子
どもたちの集いの場「こどもの里」、人情が色濃く残る街の
人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー。
監督・撮影：重江良樹（上映時間：100分）

- ^{いま}現在求められている
“子どもたちの居場所”の原風景

荘保 共子さん プロフィール

（しょうほ・ともこ）

NPO法人こどもの里理事長。1970
年、教会の青年活動の中で釜ヶ崎の子どもたちと出會
う。学童保育として1977年「子どもの広場」を開設し、
1980年「こどもの里」に改称。現在も釜ヶ崎の子どもたち
の集いの場として有り続け、子どもたちの権利擁護にと
りくむ。わが町にしなり子育てネット代表、子どもの権
利条約関西ネットワーク副代表。

こどもの里★ 映画「さとにきたらええやん」の舞台。大阪市
西成区・釜ヶ崎の子どもたちに健全で自由な遊び場を提供したい
と、1977年開設の「子どもの広場」を前身として、1980年に現在の
場所で「こどもの里」を開設。生活の不安定さに揺れる子どもたち
や親たちのサポートを続け、短中期的な宿泊機能、緊急一時保護、
生活の場も提供。長期的な養育を行なう里親の機能をもつ。

西野 博之さん プロフィール

（にし・ひろゆき）

NPO法人フリースペースたまり
ば理事長。1986年より不登校児童生徒やひきこもり傾向
にある若者たち、障がいのある子どもたちが育ちあう居
場所づくりに携わり、1991年に「フリースペースたまり
ば」を開設。川崎市子ども夢パーク所長、「フリースペ
ースえん」代表。川崎市子どもの権利条例づくりに調査研
究委員会の世話人として関わる。川崎市中学生死亡事件
に係る専門委員として事件の検証にあたる。

フリースペースたまりば★ 1991年、学校や家庭、地域
に居場所を見出しにくい子ども・若者たちの居場所としてス
タート。2003年7月、川崎市子ども夢パーク内の不登校児童・
生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市から
委託される。2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で子
ども夢パーク全体の管理・運営を行なう。

鈴木 健さん プロフィール

（すずき・けん）

桜本の「川崎市ふれあい館」（運営：
社会福祉法人青丘社）職員。子どもの貧困の連鎖を防止
するための生活保護世帯の中学生への学習支援、市立川
崎高校（定時制）の「ぼちっとカフェ」などを担当、「子ど
も食堂」の開設や若者の居場所づくりに携わる。ライフ
ワークとして、特技のフィリピン語を活かし、在日フィ
リピン人を中心とした在日外国人のサポートやコミュニ
ティづくりに携わっている。

川崎市ふれあい館★ 川崎区桜本で、日本人と韓国・朝鮮
人などの在日外国人が市民として子どもからお年寄りまで相互
のふれあい交流をすすめるための場所。基本的人権の尊重の精神
にもとづき、差別をなくし、共に生きる地域社会を創造していく
ことを目的とした施設。桜本こども文化センター（児童館）との統
合施設。社会福祉法人「青丘社」が市より受託して運営。

会場 教育文化会館アクセス

【交通機関】

- 川崎駅東口よりバス
12番・14番乗り場から乗車
「教育文化会館前」下車
- 川崎駅東口より約1 km、
徒歩15分

